

平成21年3月27日

那覇空港における構想段階の終了及び施設計画段階の検討概要について

内閣府沖縄総合事務局
国土交通省大阪航空局

那覇空港構想・施設計画検討協議会（構成：内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局、沖縄県）が、那覇空港の抜本的な将来対応方策の実施に向けた具体的な取り組みとして、国土交通省航空局が平成15年4月に策定した「一般空港の滑走路新設または延長事業に係る整備指針（案）」に規定する構想段階の検討を国土交通省が平成20年4月に策定した「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン」に基づき、那覇空港技術検討委員会（委員長：屋井鉄雄 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授）及び那覇空港構想段階PI評価委員会（委員長：上間清 琉球大学名誉教授）を設置して実施してきた。

この結果を受け、同協議会での検討内容及びPIで寄せられた県民等の意見等を踏まえ、那覇空港の将来対応方策として、構想段階PIで提示した「増設A案（滑走路間隔1,310m）」が適当であると判断し、構想段階を終了するとともに、引き続き、同整備指針（案）に規定する施設計画段階に移行して、同段階の検討を実施することとする。なお、同段階の概要は、下記のとおり。

記

1. 検討主体

施設計画段階の検討は、「那覇空港構想・施設計画検討協議会」が引き続き実施する。（構成：内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局、沖縄県）

2. 検討内容

構想段階で選定された滑走路増設案について、具体的な施設の配置等の計画案をPC（パブリック・コメント）実施して策定する。

（了）